

## ソーシャルイベント

をひらく



理解・信頼そして発展

### 第28回 日本医学会総会 2011 東京

【学術講演】 会期: 2011年4月8日(金)～4月10日(日)  
会場: 東京国際フォーラム  
三層ビルコンファレンススクエアエムプラス  
丸ビルホールもコンファレンススクエア  
東京商工会議所

【特別会・学術展示】 会期: 博覧会 2011年4月2日(土)～4月10日(日)  
学術展示 2011年4月7日(木)～4月10日(日)  
会場: 東京国際展示場、丸の内エリア  
(東京ビッグサイト)

会 場: 次輪展示場  
設 席: 小川秀典、野原成光、鈴木雅博  
開催委員長: 森野雅三



社 名: 日本医学会 (社) 代表者: 東京日本医学会総会  
 日本医会館 東京大学医学部、東京医科歯科大学医学部、千葉大学医学部、慶応大学医学部、  
 慶應義塾大学医学部、東京慈恵会医科大学、日本大学医学部、東京女子医科大学、日本医科大学、  
 早稲田大学医学部、東京聖路加大学、昭和大学医学部、東京大学医学部、杏林大学医学部、  
 国立国際医療研究センター、徳川病院、聖隷聖医院、東京慈恵会医科大学、東京医科歯科大学

事前参加登録 詳細については裏面をご覧ください。  
<http://www.isoukai2011.jp/>

http://www.isoukai2011.jp/ 1113-9615 東京国際フォーラム J-1 東京国際展示場 1113-9615  
 TEL: 03-5560-9090 FAX: 03-5560-9642 E-mail: meeting@isoukai2011.jp

4年に1度開かれる日本医学会総会が、福岡・大阪を経て12年ぶりに東京へ戻ってきます。わが日本医家芸術クラブでは、総会会期中のソーシャルイベントに美術部・写真部を中心に、書道部や洋楽部の有志者を募って、参加する方

来々年々4月2日(土)～10日(日)  
 東京国際フォーラムで展示会

針です。その概要を、以下に説明いたしますので、ご賛同くださる方は、参加申込書を当事務局あてにご送付くださるよう、お願い申し上げます。

## 参加申し込み受付中です

昨年、催しの実行団体である東京都医師会から「第25回総会」のとき、医家芸術クラブでは、俳句会を主催していただきました。今回はいかがでしょうかという呼びかけがありました。

さっそく、俳句部員に前回の記録(機関誌・医家芸術)年 月号)のコメントを添えて意向を問い合わせたところ、投句は可能だが会場参加は出来ないという回答が圧倒的に多く、開催は困難であることが分かりました。

しかし前回にはなかった美術・写真・書道などの展示会を開けることが分かり、さっそく準備委員会に参加、洋楽部も何

らかの形で実現できるように検討中です。  
さらに、美術部員に参加を呼びかけたところ会員以外からの問い合わせも含めずでに申し込みが届きはじめています。  
目下、考えられる具体的な条件を再生委員会議任者、美術部長の白矢勝一氏に説明してもらいました。

## 会場は都心の一等地 メリットも多数

美術部長 白矢勝一

開催場所 元東京都庁舎のあった「R有楽町駅前の「東京国際フォーラム」地下2階（写真④参照）」という一等地です。これまでも国際会議や各種フォーラムが開かれており、ロケーションだけでなく、ネームバリューも国際的です。

会場費 気になる会場費ですが、医学会総会の会場内ですので、費用は掛かりません。

参加費 ただし、医師は参加費2万



5千円が必要で、それでも会場の場所などからすると、例年のクラブのイベントよりも割安です。特に2パネル使用で出品されると大変お得です。また、新人医師や学生、さらに「J・メディカル 家族

らは相当額が減額されています。

部と部の横の交流 医家芸術クラブとして各部を連携、美術、写真、書道）し展示が可能なため、これまでに少なかった横の交流ができます。

学会からの表彰 最優秀、優秀作品には学会賞、医家芸術クラブ委員長賞などが授与される予定で、日本医師会後援の公的にステイタスのある賞を受賞するチャンスでもあります。

幅広く高覧頂ける 展示会場は学会場でも目立つ、人通りの多い場所ですので、出品者の家族や知人ら関係者だけでなく、通りがかりや学会参加者多数の方々にも高覧頂けます。

パネルが最低数で60枚あり、1パネル3万円、2パネルだと4万円の予定。また、パネルの大きさは900ミリ×2100ミリなので、1パネルだと絵画では縦位置なら30号、横位置なら20号まで

展示できます。100号のような大作は2パネルで可能です。



クラブの宣伝機会 多くの医師や関係の方が全国から参加するため、展示を通して、当クラブのよい宣伝の機会でもあります。

新入会員獲得のチャンス 以上のように、作品や機関誌の展示により新入会員を募れる可能性が大きい。

会期 「見出し」に記しました。作品の納入方法や参加費の払い込みなどは今後話めて行きます。広島県医師会の芸術祭へは、出品作品を当方からまとめて

会場へ送れば、三重空間を避けられます。

写真展・書道展との兼ね合い

写真展の場合には全紙大でも2段がけできます。

書道も全紙、半切、茶掛け、色紙など多様なサイズに合わせて数点飾れるでしょう。

問題は秋の展覧会をどうするか です。

年間2回か、2年度に限り春季開催か

医学会総会への参加者の数で、判断することにもなるのでしょうか。

総会参加はクラブから一括で

以上は概略です。今後、さらに準備委員会を発足させ検討を重ねるつもりですが、まず総会に参加される方は、日本医家芸術クラブから一括して申し込みたく存知ます。事前登録で前記の参加費のようになり、かつ団体割引は10人で1人分安くなります。30人が参加していただければ33人になります。そこで差額分が準備費用や運営費などにあてられます。

前回参加の「俳句会」を紹介

ところで、1999年4月3日に開いた「医学会総会 交歓部会」の俳句会について、若干ご説明します。

会場は南国酒家・原宿迎賓館、「実地医家の会」の諸先生方と初の合同会でした。作品を寄せられたのは、当クラブから俳句部長だった正田稲洋先生以下18人、医家の会から16人、合わせて34人でした。このうち出席は22人です。事前に作者の名前を伏せた句集を参加者に届け、これを基に互選による得票で会頭賞などを決めました。

いま、このときのお名前を見ますと、正田稲洋、大森暢久、中島道夫、東出徳衛、諸星淳造、酒寄淳見、玉田太郎各先生がすでに故人となられています。また高齡、病氣などで退会された方々が7人（その後の消息は不明）もおられ、現在医芸俳壇に名を連ねておられる方は、小南一子、中村雄彦、初芝澄雄、福富清子

の4氏だけ。

会の進行ですが、東出先生が司会、大森副委員長(後委員長)が挨拶、正田稲洋先生が句評をされました。このときの模様を東出先生は次のように原稿を寄せられています。

新しい出会いと再会と 東出徳衛

俳句会は、当初、吟行会 を予定していた。時間的な制約もあつて左記の段取りで実施することを、「日医ニュース」実地医家のための会「医家芸術」の各機関誌に、「ご案内を掲載した(中略)。

三十四人の参加申し込みがあり、事務局から事前の投句を依頼した。出句は(A)医療に関する一句と(B)当季雑詠が一句で、(A)と(B)から、それぞれ二句を互選した。また、医芸俳句部委員・正田稲洋先生(俳誌「桑弦」主宰)には、(A)(B)から五句を選んでもらい稲洋賞を贈呈した。

いつして当田の席上、晴れの授賞式が

あり日本医学会総会会頭賞などが授与された。受賞者みなさまの、にこやかな喜びの挨拶の後、稲洋先生から簡潔にして、厳しいご講評をいただいた。

次いで正田先生の豪快な乾杯の首頭で、会場は一気に懇親ムードに突入、マイクがテーブルを駆け回り、天衣無縫? な自己紹介が始まった(略)。

新しい出会いがあり、再会があり、心温まる句会であつたが、二十一世紀の吟行句会 を約し、大森先生の閉会の辞で午後六時半すぎ手を振り握手しながら原宿を後にした(後略)。

ちなみに表彰作品を披露しましょう。

日本医学会会頭(高久史磨)賞

春の窓あけて退院告げにけり 中島道夫

日本医師会会長(坪井栄孝)賞

モニターの心電図消え春の間 塚田浩一

東京都医師会会長(佐々木健雄)賞

および正田稲洋賞(当季雑詠)

燕来る授乳時間の乳児院 仲屋佐一郎

日本医家芸術ク委員長大石武(賞)  
および正田稲洋賞(当季雑詠)

古雛日きつなじの傾き癖 福屋清子

このほか、稲洋賞には、川久保亮、佐

藤洋子、鈴木庄一、中澤譲二、青柳洋一、

鈴木良戈、渡辺美恵子の皆さんが入賞し

ている。

豪華な副賞とお土産

入選者への副賞は、会頭賞がクリスタルの三角錐型トロフィー、日医会長賞や都医師会長賞には盾、稲洋賞は相川考古館のミニ填輪(盛装・弾琴)。さらに全賞に総会記念品(ガラス製文鎮「直径8・5センチ」)、稲洋感時記(先生の句から季節別に6千句所収)が贈られた。このほか、大森先生のエッセイ集「西方獨語」もプレゼントされた。

実地医家の会の仲屋氏は、都医師会賞のほか稲洋賞を二つ、合わせて三冠を獲得、はるばる青森から上京し夫人へのお土産ができた満足げでした。